



き ら り ん



【子どものスローガン】「**つよく やさしく かしこい子**」

校長 小野 浩司



「祝卒業・特集号」

卒業生の保護者の皆様

本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

また、6年間にわたり本校へご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。



令和2度目の卒業生となる6年生へ校長からのメッセージ

6年生の皆さん、卒業おめでとう。

そして、たくさんの思い出を残してくれてありがとう。

あなたたちと過ごした日々は、私にとってかけがえのないものになりました。

特に今年度は、6月からの新年度スタートという特別なものとなり、みなさん一人一人は戸惑い複雑な気持ちになった人もたくさんいたと思います。そのような中で、卒業を迎えたみなさんの立派に成長した姿は、本当に素晴らしいと思います。

さて、卒業式の式辞の中に、いくつかのみなさんの足跡とはなむけの言葉、そして少しのサプライズを用意させていただきました。そこには、私の皆さんへの思いが少しだけ込められていると思ってください。卒業してもいつまでも忘れず待っていること・これからの未来に向かって胸を張って生きていってほしいこと・これまで仲間との協力を何よりも大切に、絆を深めながら成長して欲しいこと。これらに関連した私からのメッセージを感じながら、どうぞ自分の夢を少しずつ志に高め、自信をもって、しっかり前を見つめて進んでいってください。

さらに、皆さんがここまで成長できたことを、家族の皆さんや地域の皆さんに感謝してほしいと思います。

ここに、皆さんの1年生からの軌跡を載せておきます。



【今年の6年生の活躍する姿を】

6月からの6年生の活躍ぶりを振り返ってみたいと思います。

一人一人が輝いた1年でしたね。思い出してみてください。



伝統芸能である「逆面獅子舞」を宇都宮学で体験することになりました。(7月)



厳しい状況の中、一人ひとりが頑張った「きらりん運動会」(10月)

「きらりんウォークラリー」での目覚ましい活躍は忘れません。(9月)



学校代表としての「きらりん清掃」(11月)

最後は、思い出のたくさん詰まった修学旅行の一コマです。皆さん本当に有意義な旅行になったと思います。松島の班別研修では、ほとんどの子ども達が一日の充実感を味わっていましたね。2日目は、震災あとの見学と水族館の見学で、いろいろな思いが入り混じった目を輝かせていたのが印象的でした。

本当に素晴らしい卒業生たちでした。

(小 野)



【児童の氏名や写真など個人情報に掲載されていますので、お取扱いには十分お気をつけてください】